






























製造業、非製造業とも景況は大幅に悪化

11月の情報連絡員報告によると、製造業・非製造業とも対前年同月比の景況は、先月に続き大幅に悪化した。製造業の景況DI値がマイナス90を超えたほか、売上高が大きく低下し、特に非製造業の売上DIはマイナス82に達している。全業種において状況は悪化しているが、自動車及び建設に関係する幅広い業種から苦況を伝える声がよせられている。また倒産・廃業についての報告も多い。

【製造業64人、非製造業86人 計150人の集計】

 …増加、上昇、好転
 …不変
 …減少、低下、悪化

各項目のDIの動き (前年同月比)

	全 体	製 造 業	非製造業
売 上 高			
在 庫 数 量			
販 売 価 格			
取 引 条 件			
収 益 状 況			
資 金 繰 り			
設 備 操 業 度			—
雇 用 人 員			
業 界 の 景 況			

✓ 行政庁・中央会に対する主な要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
食 料 品	麺類製造業	政府は小麦売り渡し価格の改定を年に数回実施し、世界の市場価格にいち早く連動させると言っているが、業界は対応に苦慮している。年一回の改定で十分と思われる。
鉄鋼・金属	建築物製造業	国は建設、不動産業の倒産防止に努めてほしい。
紙・紙加工	紙製品製造業	原材料高緊急融資制度は効果のある施策である。さらに内需喚起や税制面での支援策をお願いしたい。
印 刷	印 刷 業	政府は早急に補正予算を組んで、中小企業支援対策を講じてほしい。
小 売	豆腐小売業	食の安全・安心について、消費者にPRしてほしい。
	工具小売業	原材料高緊急保証制度の対象業種に機械工具販売業が含まれていない。至急対応を望む。
	家具小売業	業界悪化が進んでいる。現場の状況を直接見てほしい。
サ ー ビ ス	複 写 業	複写業については「不良業種指定」による行政援助を早急に推進すべきである。又、政府主導の低金利優遇融資の実現をお願いしたい。
	廃棄物処理業	廃棄物処理法における事業者の許可取り消し要件について、緩和措置を要望したい。

平成20年
11月

業 界 の 声

製 造 業		
集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
食 料 品	麺類製造業	小麦粉価格が25kgあたり250円の値上げになった。このため麺の売価を2円以上引き上げる必要があるが値上げは困難であり、収益状況は厳しい。
織 維 ・ 同 製 品	帽子製造業	秋冬物の売上は前年並み。ニット素材が好調だが布帛は伸びていない。若者向けはある程度出ているが、ミセス向けで苦戦している。
	帆布製品製造業	今月も引き続き共同購買の売上は大きく減少。組合運営に影響が出始めている。売掛金の回収が問題化し銀行借入も考慮せざるを得ない。経費の削減などを進めなければ組合の存続に波及する可能性が出て来た。
	ニット製品製造業	1ヶ月間に3組合員が脱退。さらに廃業と転業がそれぞれ1件発生している。
	ネクタイ製造業	組合員調査で15%~20%の売上減少（6月以降継続して減少）。12月商戦も苦戦が予想される。かつてない厳しい状況である。
木 材 ・ 木 製 品	建具製造業	建設業界を取り巻く状況は日増しに悪化しているが、木製品関連の建具業界は仕事量が特に落ち込んでいる。
	家具製造業	厳しい状況が続き、今月も倒産・整理を理由に2社が組合を脱退。
紙 ・ 紙 加 工 品	紙製品製造業	夏以降、製品価格を上げたものの、価格転嫁が十分行えない中で、原油価格下落の影響から製品価格が下がり始めた。厳しい決算を迎えることは必至であり、厳しい経営状況にある。
印 刷	印 刷 業	値上げ傾向にあった印刷価格が一転、下落しつつある中で印刷の諸資材はメーカーの減産で高止まりの状況にある。 先行きの不安から、企業活動を積極的に行えない。公的な緊急融資制度への対応も控えざるを得ないのが現状である。
化 学 ゴ ム	塗料製造業	自動車向け塗料の落ち込みもあり、前月に続き全体的に売上げが低調。
	タイヤ製造業	景気悪化の影響で売上減少。スタッドレスタイヤの需要喚起のため降雪を期待している。
窯 業 ・ 土 石 製 品	生コンクリート製造業	建築基準法改正で大きく落ち込んだ前年との対比では変化は小さいものの、一昨年と比べると売上は2割減少している。
	コンクリート製品製造業	重油については一時の暴騰が収まったものの、セメント・鉄筋などは依然高止まりである。製品価格は若干上昇したが、十分ではない。ユーザーであるゼネコンの倒産が相次いでいるため与信管理が困難である。
鉄 鋼 ・ 金 属	電線製造業	11月の需要動向は、通信用電線が増加したが、電力用、自動車用、建設用電線の需要が低下したために、全体では減少となっている。
	缶製造業	鋼材価格の値上がりりが止まったが、現在までの資材価格上昇分の転嫁ができていない上に、今後の値下げ要求が懸念される。
	鋳物製造業	全般的に動きが低調である。又、ユーザーから値下げ要求が出て来ている。
	鍍金加工業	受注量は対前年比で30%以上減少している。自動車、情報通信関連など従前では堅調であった業種の需要も大きく落ち込んでいる。年末を控えて資金の枯渇が懸念される。
	金属熱処理業	11月に入り、需要の大幅な落ち込みが明白になってきた。特に自動車・建材関連の組合員の落ち込みが激しい。対前年比で20~50%の減少である。
	建築金物製造業	売上高、収益ともに減少している。
電 気 機 器	ダイカスト製品製造業	12月はさらなる受注の減少が確実で、先行きの見通しは厳しい。
一 般 機 械	配電盤製造業	当面の受注は確保されているものの、今後の展開が心配。資金繰り悪化の兆しは未だ見えないが、財務内容には驕りが見られる。
	写真製版機材製造業	年末に近づくにつれて、繁忙さが増してくるが、今年は遅れている模様。
そ の 他 の 製 造 業	スポーツ用品製造業	ウインタースポーツ需要の喚起のため、今冬は積雪量が多いことを期待している。
	ガス圧接業	稼働率が低下している。今まで徐々に下がってきた建設着工件数が、急激に減少している。値上げを行いたいのが、需給量の関係から困難。年末に向けての資金繰りが不安な状況にある。

平成20年
11月

業 界 の 声

非 製 造 業		
集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
卸 売	食器卸売業	飲食店の新規開業が皆無であるため、売上が極端に悪化している。
	塗料卸売業	塗料卸売業が原材料高騰緊急保証制度の指定業種に追加指定された。
	化粧品卸売業	組合からの退会が本年度4社となった。会社整理を原因とする退会が含まれており、深刻な状況にある。
	電線卸売業	銅価はトン40万円前後で推移。商談は冷え込み、光が見えてこない。
	紙卸売業	高級印刷紙については、40%マイナス。全体でも30%近く売上が減少している。カレンダーの受注は激減。
	セメント建材卸売業	共同購買事業、11月の実績は対前年同月比90.9%。組合員の廃業が発生した模様。
	食肉卸売業	収益状況は、好転した組合員もあるが、おしなべて前年並みの状況。食の安全問題が発生しているため、年末需要が心配される。
	木材卸売業	樹種による需給の差から多少の価格の上下はあるが、全体では動きが弱い。出材量が少なくても不足感はない。
	食品卸売業	景気低迷による個人消費の減少に加え、続出した食品問題に業界は翻弄され、困窮している。
	ニット製品卸売業	売上高の減少が顕著。業界として最悪の状況に陥りつつあり、年末商戦も厳しくなることが予想される。銀行の貸し渋りの傾向も目立ってきており、企業が倒産に至るケースも発生している。
	包装材料小売業	原紙の値上げが一段落し、新たな販売価格が設定されたが、注文は減少している。紙箱メーカーの倒産が相次ぎ、厳しい状況が明らかになってきた。
小 売	自動二輪小売業	廃業を理由とした組合員の脱退が発生し始めた。都内の2輪車に対する駐車違反での摘発は依然厳しく、ユーザーは2輪車を手放し始めている。
	青果小売業	スーパーマーケットの新規出店が増加しているため、小売商の立場はますます厳しくなっている。
	眼鏡小売業	毎年11月は年末商戦を控え仕入が増える月であるが、売上の低迷から仕入を控える店舗が多い。
	豆腐小売業	販売価格の改訂後も収益状況は悪化の一途をたどっている。廃業が3件発生したが、今後も増加すると予想される。
	文具小売業	収益が確保できないとの理由で廃業するケースが出て来ている。 来春に再度、商品の値上げがある。消費者の購買意欲の低下が懸念される。廃業を視野に入れている組合員が増えている。
	宝飾品小売業	低価格商品が市場を占めている。また、在庫が全く販売に回らず増加する一方であるため、ますます状況は悪化している。
	電器製品小売業	売上金額は昨年同月比で微減。商品によって好不調が分かれ、薄型テレビの伸びが鈍化し、エアコンが減少する一方、冷蔵庫は堅調に推移した。テレビ放送の地上デジタル移行に伴うアンテナ工事は未だ大きな動きはない。
	中古自動車小売業	鉄くず相場が大幅に下がったため、中古車販売の際に生じる下取車のうち、解体車の売却益が生じなくなった。また、円高により輸出用中古車の国内仕入が相当に鈍っている。
	衣料品小売業	消費者の節約志向が高まったからか、売上額は前年と比べ大幅に減少している。
	各種商品小売業	個人消費の冷え込みは不変。対前年比での売上の減少が続いており、収益の悪化も同様。
	木材小売業	景況の悪化は一段と加速しており、年明けにかけての不安感が増している。
ペット小売業	登録制になったことの影響でブリーダーが減少し、さらには鳥インフルエンザの恐れから輸入が落ち込んだことで鳥類の流通量が減少した。このため営業が困難になり、廃業する組合員が発生している。	

商店街	目黒	売上高は全体的に見れば変わらないが、収益状況は悪化している。仕入価格が下がっている品目もあれば高止まりしているものもあり、バラツキがある。
	銀座	急激な円高の進展で外国人観光客が減少している。また購入に至らず、ウインドショッピングのみの感がある。
	秋葉原	組合員ではないが、民事再生法が適用された企業が発生し、電気街に動揺が走っている。
サービス	自動車整備業	低年式車両が増えるとともにユーザー車検が一般化したことで、整備がおざなりになり、故障や事故の増加が憂慮される。
	廃棄物処理業	鉄くず、古紙、廃プラ市況が極端に悪化している。資源物を売却することで廃棄物処理作業の不採算分をカバーしていたが、資源価格の下落で採算性は大きく落ち込んでいる。
	クリーニング業	原油価格が下落しているものの、クリーニング資材の中で多くを占める石油関連資材の価格に反映されていない。厳しい経営環境は今後も続くと思われる。
	公衆浴場業	都の耐震対策及びクリーンエネルギー化事業の補助金申請は順調に進んでいる。
運送	貨物自動車運送業	比較的好調であった自動車関連輸送（鋼材、機械、部品等）が急速に悪化している。組合員の廃業と企業買収が、各1件発生している。